

4
いいたて
イノサル通信

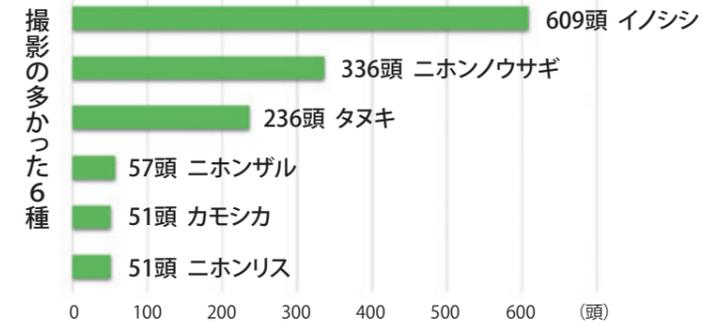
野生動物を撮る

鳥獣被害対策を効果的に行うためには、被害を出す動物について調べる必要があります。その手法の一つとして、センサーカメラ調査と呼ばれるものがあります。人が動物を直接観察することは大変ですし、人がいることで隠れてしまうかもしれません。できるだけ自然な状態を調べるために、動物を感知して自動で撮影してくれるカメラを使用します。このカメラのおかげで、その地域にどんな動物が多いか、どの時期に出没が増えるかなど、いろいろなことが分かります。

現在、私達は伊丹沢地区が行う鳥獣対策に協力しています。その一つとして、センサーカメラ調査を行っていて、今回はその途中経過を紹介します。

地区内には10台のカメラを設置していて、今回集計した期間は令和5年1月21日から6月15日までです。撮影頭数は、イノシシが最も多く、次いでニホンノウサギ、タヌキ、ニホンザル、カモシカ、ニホンリスでした。哺乳類としては、その他にアライグマ、ハクビシン、アナグマなどの15種が撮影され、数は少ないですが、ニホンジカも撮影されました。

このように、調査により、被害を出す動物の出没状況が分かります。また、対策と調査を同時に行うことで、対策により動物の出没を減らすことができたかなど、効果的に対策を進めるために必要な情報を得ることができます。今後も調査を続けますので、撮れる動物がどう変わっていくか、またご報告します。



カメラがとらえた動物達



(上段右)ニホンノウサギ (下段右)カモシカ
(上段左)ニホンザル (下段左)ニホンジカ

イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する鉄谷さんからのお知らせです。



福島県避難地域鳥獣対策支援員

鉄谷 龍之 さん

平成31年4月から同支援員。令和3年から飯館村の鳥獣対策に携わり、今年度から村の主担当。専門は野生動物管理・鳥獣被害防除。

飯桶陣屋

相馬藩の出先機関

歴史の散歩道

飯館村は江戸時代を通じて相馬藩に属していました。相馬藩の陣屋代官制度は、明暦年間(1655年から1658年)に始まり、「郷」の再設定により山中郷などが設置された元禄10年(1697年)に完成しました。山中郷には30村が属し、その中心として「陣屋」が置かれたと考えられています。正式に陣屋が置かれたことで、それまで定期的な藩から出張していた代官が、陣屋常駐めになりました。

の町や村に居住していた藩士が武術の訓練をした道場、学問所である庶政務、防犯を担う番屋、さらには牢屋などもありました。本村を通る「奥州西海道」は「塩の道」とも呼ばれています。村内には「八木沢宿」「飯桶宿」の2つの宿場があり、飯桶陣屋は飯桶宿に置かれました。当地は、現在の飯桶町地区に当たります。明治期に復元された幕末の地図(右下の図)には、現存する善應寺が書き込まれていて、陣屋などのおよその位置関係が見てとれます。現在、陣屋の遺構は何も残っていませんが、塩の道を目印に、現在の風景の中にも当時の面影を感じることができます。



陣屋が置かれていた場所に「飯桶宿 山中郷陣屋跡」の碑と説明の看板が建てられています。



村史第1巻「通史」より「幕末の飯桶」。明治期の字限図を元に村民の談話を加味して復元されたもの。

おすすめ図書を紹介します

夏にぴったりのレシピが満載!

「クックパッドの夏レシピ 最新版」
出版社・宝島社



夏野菜をたっぷり楽しめる1冊をご紹介します。夏の殿堂入りレシピや15分以内で完成できる夏の食材もたくさんレシピ、冷たい麺レシピなど、これを読めば暑い夏でも夏野菜のおいしさを楽しみながら過ごせるはず。夏野菜は、水分やカリウムなどを豊富に含んでいるので、身体をクールダウンに最適!! 作ったことのない料理にも挑戦してみよう。



交流センターではさまざまなジャンルの書籍・雑誌・絵本を貸し出しています。ぜひご利用ください。

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。